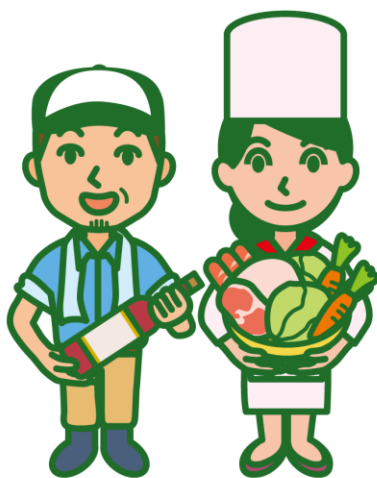


内閣府 実践キャリア・アップ戦略 キャリア段位制度

食の6次産業化 プロデューサー | 基幹教則本 |



一般社団法人 食農共創プロデューサーズ 編

本書のねらい

平成25年3月にスタートした「実践キャリア・アップ戦略～食の6次産業化プロデューサー」では、「農」や「食」を基盤とした新たなビジネスの創出を目的とする人材の育成プログラムを認証し、「能力」ある人材を作り・育ててゆく社会システムの構築を目指すとともに、「能力」や「実績」を有する人材をプロフェッショナルとして認定するキャリア段位制度のシステム化を進めています。

平成26年3月現在、国内には、人材育成を行うプログラムが認証されるとともに、既に個人でレベル段位を取得された方（認定者）などが数多く存在します。

本書では、これからプログラムの認証やレベル段位の取得を検討される組織・個人、そのほか本制度に興味をお持ちの方など、多くのみなさまに、①本制度のねらい、②「わかる（知識）」、③「できる

（実践的スキル）」に係る解説を行っています。

特に「わかる」では、人材育成を行う上で必要となるプログラムの科目ごとの解説、「できる」では、判定の基礎となる評価指標ごとの解説をしており、いわば「食の6次産業化プロデューサー（食Pro.）」を基に、キャリア・アップを図ってゆくための「虎の巻」となっています。

今後、プログラム認証や個人のレベル認定に向けた申請書作成の際に、まずは本書に記載された解説をお読みいただくことで、認証や認定への近道になるものと思います。

食の6次産業化プロデューサー事務局
一般社団法人 食農共創プロデューサーズ

－ 目次 －

1. 実践キャリア・アップ制度と食の6次産業化プロデューサー	3
1.1 当該領域に係る背景と「人材」の重要性	4
1.2 キャリア段位制度の必要性・重要性	6
2. 「わかる（知識）」	11
2.1 「わかる（知識）」評価と育成プログラムの考え方	12
2.2 「育成プログラム学習内容認証基準」の評価基準（科目・単元等の意味）	17
(1) レベル1（科目）	17
(2) レベル2（科目）	24
(3) レベル3（科目）	38
3. 「できる（実践的スキル）」	47
3.1 「できる（実践的スキル）」評価の考え方	48
3.2 「できる」の評価基準（項目の意味・事例）	54
(1) 商品・サービスの開発	54
〔①-1 商品化・サービス化〕	54
〔①-2 多角化等〕	60
(2) 販路開拓・プロモーション	63
〔②-1 新規販路の開拓・拡充〕	63
〔②-2 メディア等への情報発信〕	66
(3) 連携・コーディネート	69
〔③-1 生産・加工・流通の連携や一体化、異業種との連携〕	69
〔③-2 地域活性化への貢献〕	74
(4) その他のアピールポイント	78
(5) 事業成果	80